



【報告（オーケストラ部）】

二つの「コンサート」を開催しました!!

こんにちは。

岐阜県立大垣南高等学校長の 種田 昭彦（おいだ あきひこ）です。

オーケストラ部において弦楽器を担当する生徒が、昨日（8月19日（水））及び本日（8月20日（木））の2日間にわたって、二つの社会福祉施設（高齢者）を訪問し、コンサートを開催しました。

【昨日（8月19日（水））】

サットヴァの園（大垣市）、『集いのコンサート』

【本日（8月20日（木））】

あいあいデイサービスセンター（大垣市）、『愛のコンサート』

このコンサートは、日本教育公務員弘済会より本校オーケストラ部に支給された「研究助成金（20万円）」をもとに「ヴァイオリン弓」と「ヴィオラ弓」を購入し、その活用による地域貢献活動として実施しました。

「ヴァイオリン」や「ヴィオラ」などの弦楽器は、高齢者の方々にも心地よく聴いていただける優しい調べを奏でることのできる楽器です。

高齢者の方々に親しみをもっていただけるように、クラシックとともに「昭和の懐かしのメロディー（懐メロ）」を心を込めて演奏しました。

- (1)愛の挨拶 (2)パッヘルベルのカノン (3)エーデルワイス (4)北国の春
(5)瀬戸の花嫁 (6)幸せなら手をたたこう (7)荒城の月 (8)夏の思い出
(9)浜辺の歌 (10)ふるさと

▶「昭和生まれ」の私ごとになりますが、「懐メロ」の演奏を聴きながら、歌詞から情景を思い浮かべ心がジーンとしました!!

▶部員の皆さんは、自分たちが生まれる遥か前のメロディーを見事に演奏していました。

その想いが伝わり、聴いていただいた多くの方々が自然と口ずさんだり、曲に合わせて手拍子をしたりして楽しむ様子がありました。

最後にはアンコールの掛け声と手拍子が起こり、その期待に応えて、もう一曲(11)川の流れるように を演奏し終了しました。

音楽のもつ素晴らしさが、世代を越えて、会場内に温かで和やかな雰囲気を作り上げていました。

【施設担当者の声】

○サットヴァの園

高校生に演奏に来てもらうのは初めての取り組みであり新鮮であった。
穏やかで優しい生徒さんが多く、心地の良い時間だった。

○あいあいデイサービスセンター

今日のために、まだ生まれる前の昭和の曲などを一生懸命に練習されたことに感謝します。

是非これからも続けて交流していきたい。

参加された部員の皆さん、引率された顧問の先生、素敵な時間をありがとうございました。お疲れさまでした。



文・写真 大垣南高等学校長の 種田昭彦（おいだ あきひこ）